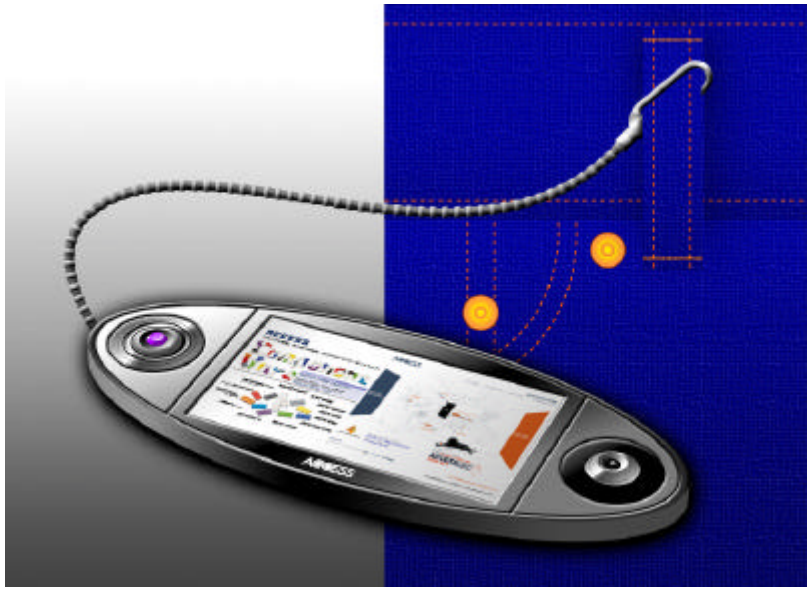
●ACCESS決算説明会●

平成15年1月期　第2四半期
決算説明会



株式会社ACCESS
代表取締役　荒川　亨
2002年9月24日

本資料についての注意点

- 本資料に含まれます業績目標等の将来数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであります。

- 将来数値には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来数値と異なる場合がありますので、この将来数値に全面的に依拠して投資等の判断を行なうことは差し控えてください。

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

目　次

1. リリース製品実績

2. 国内携帯電話事業の見通し

3. ソフトウェアプラットフォーム戦略の推進状況

4. 海外展開の進捗状況

5. 収益化に向けた直近の施策

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

プレゼンテーションのポイント

- ACCESSソフトウェアの累積出荷台数、および、搭載製品数はそれぞれ　7200万台、177機種（2002年6月末時点）と順調に拡大中
- 国内携帯事業に関しては、NTTドコモとのFOMA向けソフトウェア包括契約の締結を軸に、収益化への見通しがたった
- 携帯以外のネット家電市場の立ち上がりの遅れが上期決算へのマイナスインパクトを与えたが、PDA、DTV、カーナビ等の各カテゴリー毎のソフトウェアプラットフォームとしての地位固めは着実に推進中であり、今後の拡大が期待できる
- 海外の携帯事業者へのソリューション提供実績も徐々に拡大
- 一層の収益力向上のため、子会社および新規事業における事業性の精査を実施し、事業の選択と集中を進める方針

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

外部要因による影響

携帯メーカーの出荷遅れ

- ドコモ504i、251i対応メーカーの開発遅延の影響を受けた出荷時期の遅れにより、上半期のロイヤリティー収入へのインパクトが大きかった
（上期計上は、6月末までの出荷分に対するロイヤリティーのみ）
- 下期では、当初期待通りの数字に落ち着く見込み

新規マーケットの立ち上がりの遅れ（カーナビ、DTV等）

- カーナビ、DTV分野におけるネット対応端末市場の立ち上がりが、当初の見込みよりも遅れていることによる影響があった
- 全体的に3ヶ月～6ヶ月程度、当初見込みより遅れているものの、カーナビ、DTVとも受託案件の受注は着実に進捗中であり、下期に売上がある程度集中する見込み

上記外部要因の読み違いにより、上期収益は当初見込みを下回った

⇒下期は好転するが、それと同時に収益化に向けた施策を打つことにより、単体通期でのより大きな黒字を達成していく

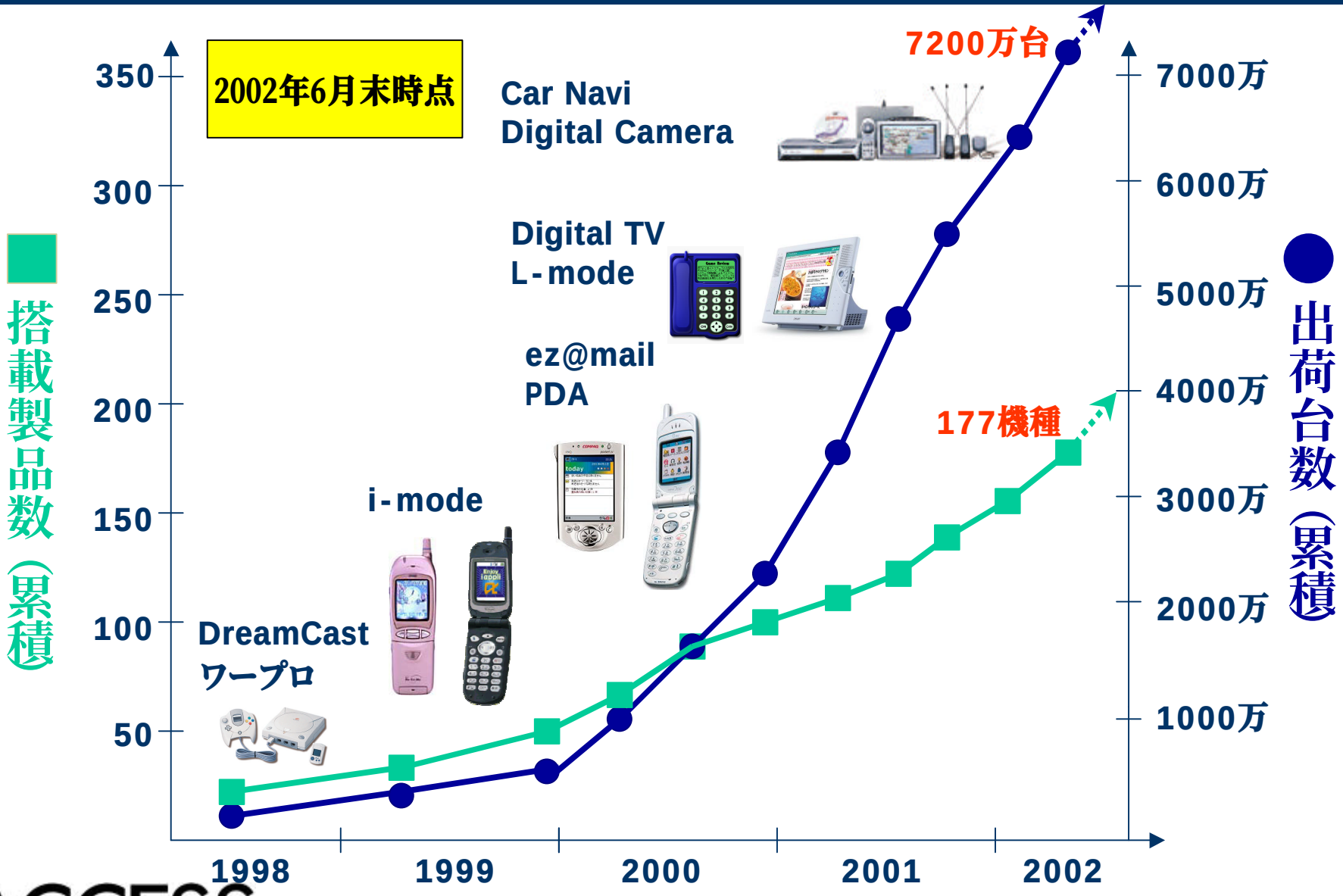
ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

1. リリース製品実績

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

搭載製品数・出荷台数



ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

1Q　主要リリース製品

三菱FOMA D2101V

NetFront for Δ
(NECインターチャネル)

松下電送システム (株)
Lモード「UF-L3WCL」「UF-L3CL」

(株) スクウェア
プレイオンラインViewer
(for PS2)

日立デジタルTV Wooo

SONY　BSデジタルハイビジョンチューナー

KDDI @mail

アルパイン (カーナビ)

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

2Q 主要リリース製品

N504i

F504i

D504i

F251i

D251i

KDDI@mail端末
(京セラTK21)

KGT i-mode端末
(N530i)

Sprint向け端末
(SCP-4900)

シャープ Lモード
(UX-W30CL/UX-W30CW)

キヤノン Lモード
(CF-VL10)

パイオニア L-mode
(TF-LP900F)

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

2. 国内携帯電話事業の見通し

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

次世代FOMA共同開発

◆ プレスリリース（2002年9月10日）

ACCESS、NTTドコモと次期FOMA端末向けブラウザを共同開発

ドコモとの直接ライセンス契約

- NTTドコモと直接ライセンス契約を締結
- 次世代FOMA対応メーカー全てに対して、ACCESSがソフトウェアを供給

ロイヤリティー単価UP

- 既存PDC端末と比較し、ロイヤリティー単価が向上（⇒　収益率UP）

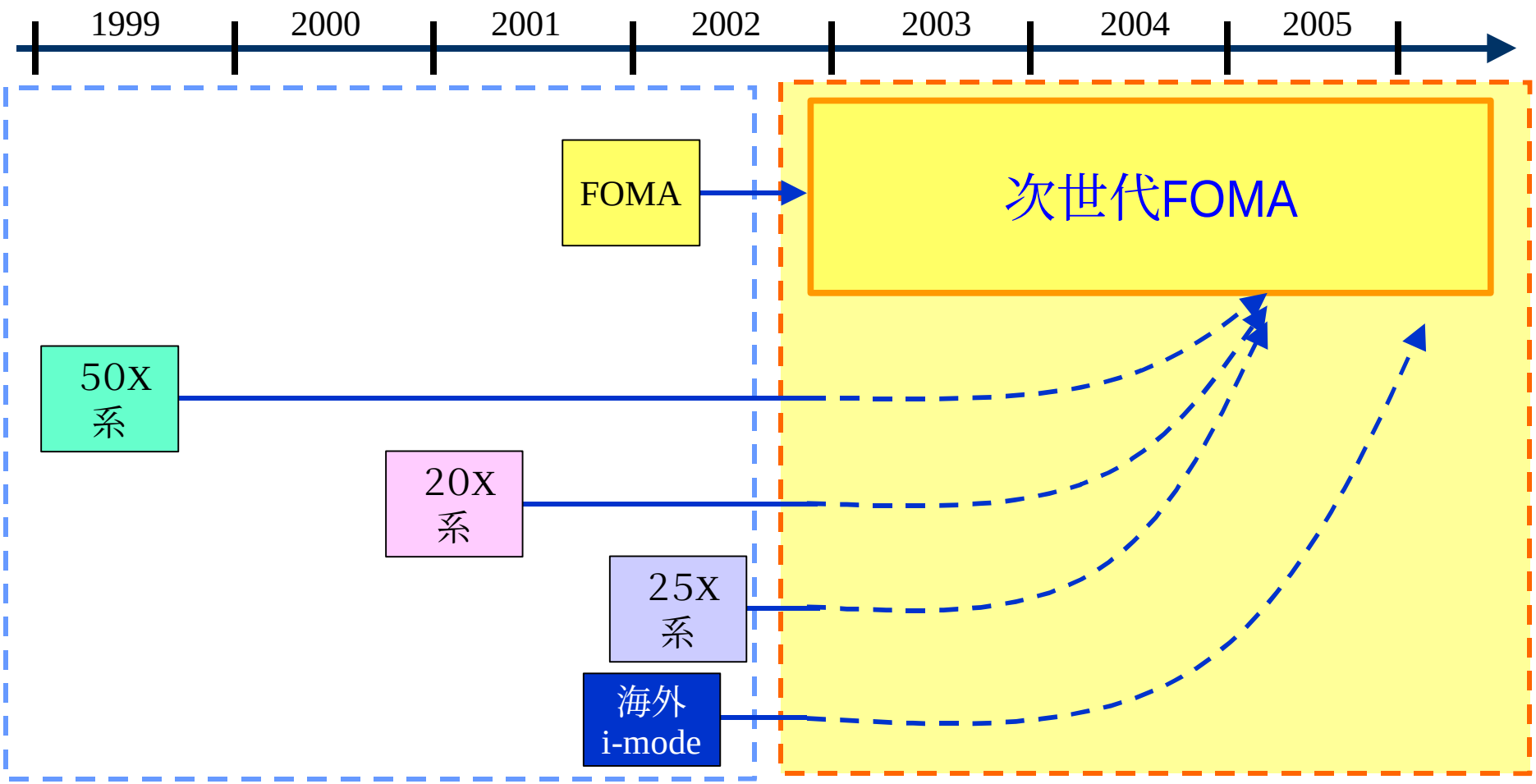
PDC端末への展開も視野

- プラットフォーム共通化による開発効率の向上を目指し、FOMA以外の端末へのソフト供給も視野に

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

ドコモ携帯電話のソフトウェアプラットフォームへ



- 短い期間での新機種開発・バージョンアップを行なうためには、プラットフォーム共通化が必須

- 今後は次世代FOMAのソフトウェアプラットフォームをベースにPDC等の端末も開発していく方向へ

ACCESS

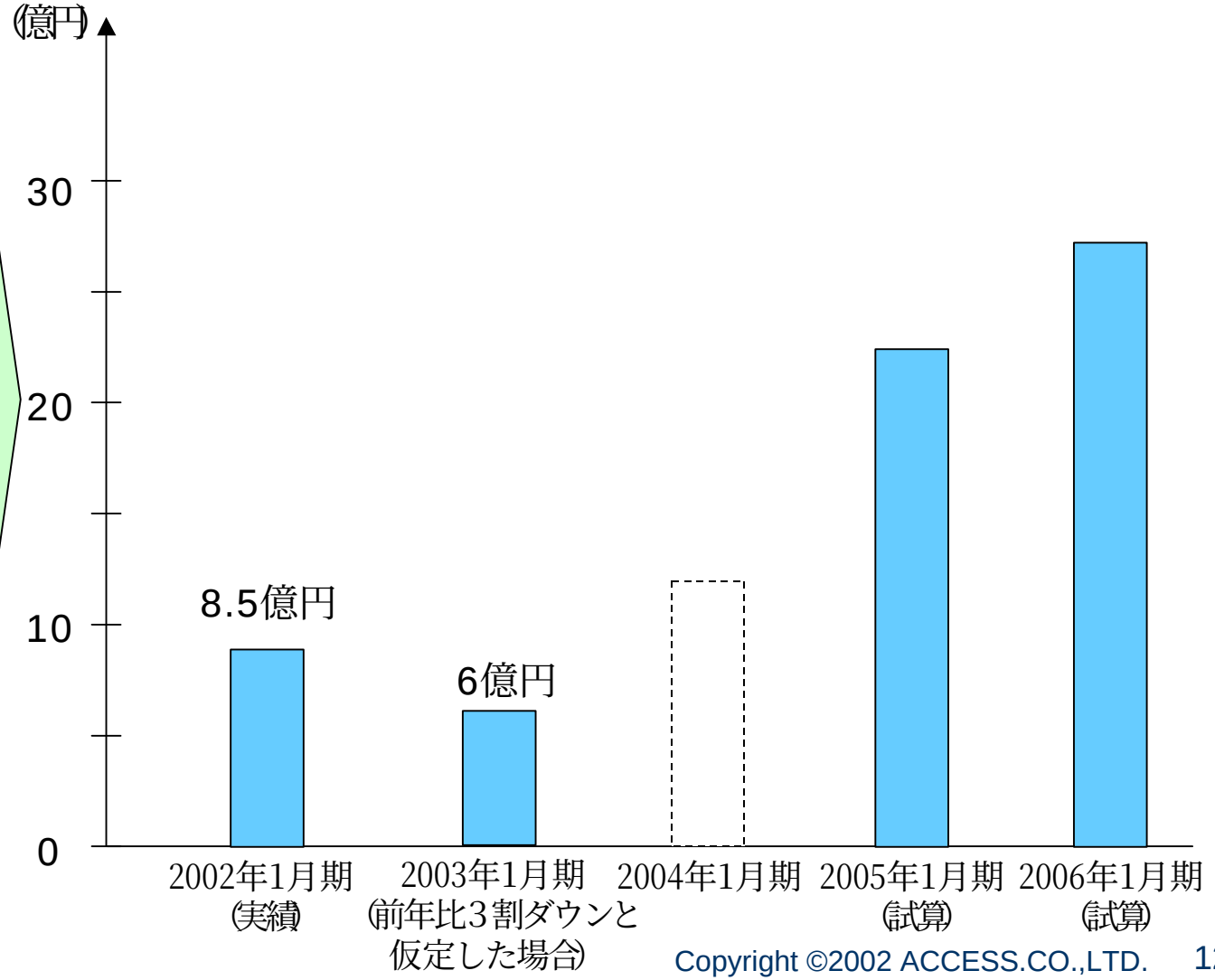
Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

ドコモ携帯電話（国内）ロイヤリティー見通し

FOMA普及のシナリオ

- **2004年中には、現行i-mode（PDC）ユーザーをFOMAユーザーが逆転**
- **2005年には、現行i-mode（PDC）ユーザーは全てFOMAへ移行**

ドコモ携帯電話（国内）からのロイヤリティー売上見通し

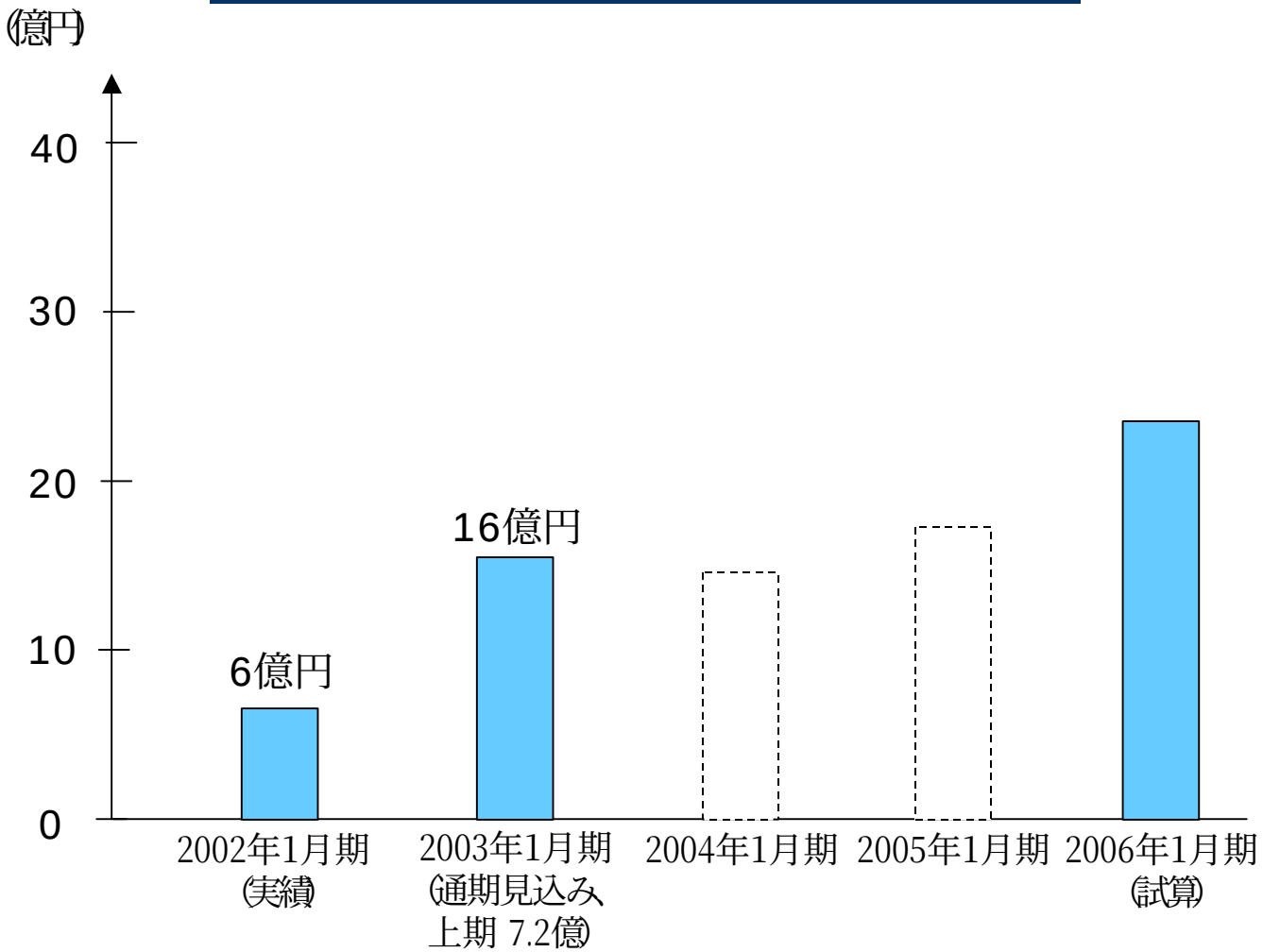


ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

ドコモ携帯電話（国内）　受託開発売上見通し

ドコモ携帯電話（国内）の受託開発売上見通し



ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

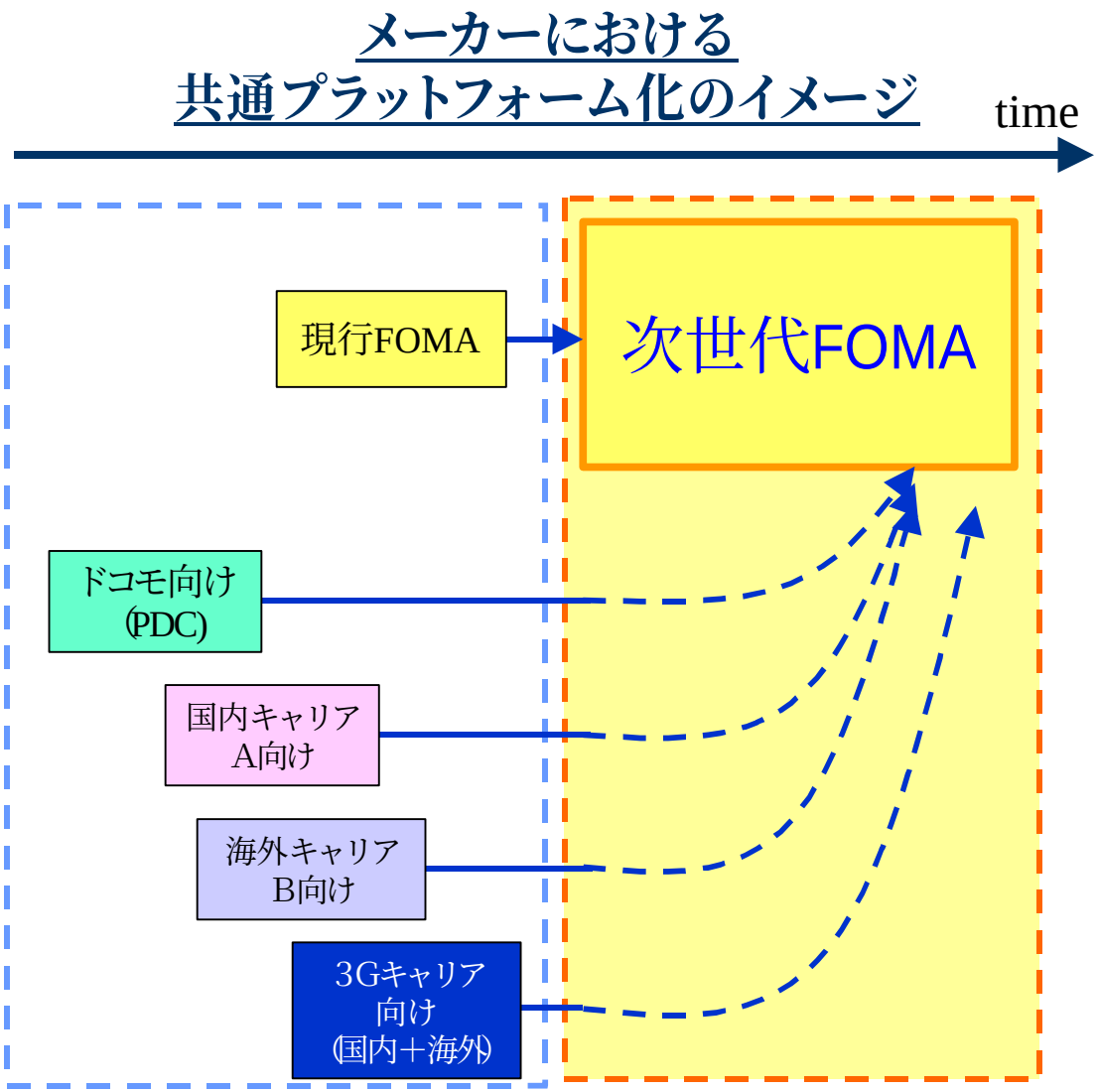
技術の優位性 (1/2)

	Compact NetFront	NetFront v3.0 Wireless Profile
機能面	• 小型携帯機器向けに最適化したソリューション – Compact HTML (HTML4.0サブセット) – GIFイメージ対応	• 現在のインターネット最新技術のほぼ全てに対応 – HTML 4.01 – XHTML Mobile Profile – Compact HTML – WML1.3 – CSS1, CSS2 – Dynamic HTML – DOM – ECMAScript(JavaScript1.5) – GIF, JPEG, WBMP, PNG
拡張性＋柔軟性	• CPU、OS、下位プロトコル非依存のため、様々な環境へ容易に移植可能 • プラグイン機構を持ち、Java等のプラグインソフトウェアによる機能拡張も容易	• Compact NetFrontの拡張性、柔軟性をそのまま継承 • 加えて、機能モジュール（JavaScript, CSS, DOM等）と言語処理モジュール（HTML, XHTML, WML, SMIL等）を分離することで、より高度な拡張性＋柔軟性を実現

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

技術の優位性 (2/2)



端末メーカーのメリット

- コンテンツ記述言語、通信方式等の規格の異なる複数のキャリア向けの携帯電話に対し、1つのソフトウェアプラットフォーム（NetFront v3.0 Wireless Profileベースの次世代FOMA用ブラウザ）で対応可能
- これにより、各メーカーの携帯電話端末の開発効率が飛躍的に向上

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

3. ソフトウェアプラットフォーム戦略の推進状況

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

プラットフォーム戦略の推進

プラットフォームホルダーと仕様決定
(通信キャリア、OSベンダー等)

↓

ACCESSのソフトウェアをベースに試作開発

↓

メーカにライセンス
(確実にシェア獲得)

例：China Unicom、Sprint、KDDI(@mail)　等

ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑﾍﾞﾝﾀﾞｰへ
直接包括ライセンス
(=100%シェア)

例：次世代FOMA、L-Mode、Zaurus (Linux版)　等

継続して
次の開発へ

プラットフォームを押さえて、確実にシェアを維持・拡大していく
⇒　各端末カテゴリーにおける着実な成果あり

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

L-mode（NTT東日本／西日本）

第一世代L-mode

BANDAI

- 第一世代のL-modeでは
  ACCESSブラウザシェア100%

次世代L-mode

- 現在、次世代L-modeの仕様検討実施中
- 次世代L-modeの共通ソフトウェアプラットフォームとして、全機種へ搭載

今秋より、第二世代L-modeスタート！

ACCESSシェア100%を維持

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

China Unicom

◆ プレスリリース (2002年8月20日)

ACCESS、中国の通信事業者、チャイナ・ユニコムと協業について合意

～チャイナ・ユニコム、CDMA1X方式ネットワーク移動機メーカー全19社に対してACCESSをマルチメディアメッセージングソフトウェアの唯一の供給企業として推奨～

● 拠点 (北京) を設立し、今後端末供給メーカー (全19社) に対するマルチメディアメッセージ用ソフトウェアの供給を推進

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

PDA

- プレスリリース（2002年3月14日）

  ACCESS、シャープとワイヤレスPDA分野で技術協力
  ～NetFrontシリーズとシャープ、モバイル情報機器（PDA）の組み合わせによって～

- プレスリリース（2002年9月18日）

  ACCESSの次世代ブラウザ「NetFront v3.0」、シャープ製新型PDA「ザウルスSL-A300」に採用

- プレスリリース（2002年6月26日）

  ACCESS、Palm OS 5ブラウザ用にコア・テクノロジーを提供
  ～将来的開発に向けた計画を含む複数年契約を締結～

国内および海外のPDA市場に対しても
ソフトウェア供給を推進

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

Wind River社（VxWorksOS）

◆ プレスリリース（2002年9月4日）

ACCESSの「NetFront(R)」、米Wind River社が認定

～ACCESS製組込み機器向けブラウザ「NetFront(R)」がWindRiver社の「VxWorks(R)OS」向け初の公認ネイティブブラウザに～

- 今後、Wind River社との共同プロモーションを通じて、NetFront SDK(for VxWorks)の拡販
- ネット家電へのNetFront搭載を加速

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

デジタルテレビ

- プレスリリース (2002年2月18日)
  日立とACCESSが包括的ライセンス契約、
  デジタルテレビをはじめとする情報家電向けに
  ACCESSのNetFrontブラウザを採用

  ⇒日立DTV　WOOOへACCESSブラウザ搭載

- SONY　BSデジタルハイビジョンチューナーにも搭載

- その他、複数の国内メーカー向けデジタルテレビに対しても、
  NetFront For DTVを提供

デジタルテレビ向けブラウザシェアも今後一層拡大

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

ゲーム機・ゲームソフト

- プレスリリース（2002年4月8日）
  ACCESS、株式会社スクウェアとPlayOnline用通信ライブラリー、
  メールライブラリーなどのミドルウェアソフトを共同開発

- その他、PS2　ブロードバンド向けブラウザも発売

㈱ スクウェア
プレイオンラインViewer

NetFront for ⊿
（PS2 ブロードバンド用ブラウザ：
NECインターチャネル）

- ゲームキューブタイトル向け通信ミドルウェア開発も進行中

**今後PlayStation以外のゲームプラットフォームへの
ブラウザ供給も加速していく方向**

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

カーナビゲーションシステム

パイオニア(株)製カーナビゲーション
カロッツェリアHDD「サイバーナビ」
(NetFront for Automotive搭載)

活動実績および今後の方針

- **カーナビメーカーへのブラウザ搭載実績多数**
- **自動車メーカー単位での標準搭載を目指し、各自動車メーカーとの交渉を推進中**
- **ブラウザソフトだけでなく、カーナビ向けコンテンツに対するニーズが高く、既に東京カレンダーコンテンツをカーナビメーカー向けに提供中**

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

4. 海外展開の進捗状況

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

ACCESS Systems America(1/2)

ACCESS Systems America
(US, Fremont)

主な営業活動実績

Sprint PCS（USのワイアレスキャリア）

- Sprintが既に開始したモバイルインターネットサービス向け端末へNetFront v3.0を提供

Palm Source

- NetFront v3.0のPalmへの包括ライセンス契約を締結
- 今年度中に各Palm対応PDAメーカーより、NetFrontをバンドルした製品がリリースされる予定

Wind River（OSベンダー）

- Wind River社のOS（VxWorks）向けのネイティブブラウザーとして公認された
- 今後、共同プロモーションを通じて、NetFront SDK(for VxWorks)の拡販へ

Telcel Cellur（ベネズエラのワイアレスキャリア）

- Telcelが予定しているモバイルインターネットサービス立ち上げへのコンサルティングを実施。商用サービス向けのサーバを含めたEnd-to-Endソリューションの提供が決定
- ベルサウスグループ全体のトライアル案件としての位置付け

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

ACCESS Systems America (2/2)

サーバ事業について

- 有料コンテンツサービスを実現するための課金サーバ、ゲートウェイを含めたサーバソリューションを開発、キャリアへの営業展開中（既に成約した案件（南米）あり）
- 多くの潜在顧客（キャリア）とのコンタクトを通じ、当事業領域は大きな将来性を確認
- ただし、ここ半年から１年での事業性について、現在詳細な見通しを検討中

・サーバ事業のコスト削減施策は、既に着手

・年内に今期および来期の見通しを見極め、事業縮小、売却、撤退を含めた今後の方針について判断、実行する

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

ACCESS Systems Europeの展開状況

ACCESS Systems Europe
（ドイツ、オーバーハウゼン）

主な営業活動実績

国際 i-mode端末へのソフトウェア搭載

- 既にスタートしたKPNグループ、KGT（台湾）のi-modeサービス向け携帯電話へのソフトウェア開発を実施（NEC製、Trium製等）
- 今後も、Docomo提携キャリア向け携帯電話へのソフトウェア搭載を加速

MMSクライアントの提供

- MMS（Multimedia Messaging Service）用のクライアントソフトウェアを開発
- ヨーロッパキャリア向けの携帯電話向け開発を実施
- 年内に市場投入の見込み

キャリアへのコンサルティング

- ドコモ提携キャリアおよびその他キャリア向けのモバイルインターネットサービス立ち上げに向けた有償コンサルティングサービスを提供
- 既に、KPNグループ、ブイグテレコム等、複数キャリアでの実績あり

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

ACCESS Chinaの展開状況

ACCESS China
(北京)

◆ プレスリリース (2002年8月20日)

ACCESS、中国の通信事業者、チャイナ・ユニコムと協業について合意
～チャイナ・ユニコム、CDMA1X方式ネットワーク移動機メーカー全19社に対してACCESSをマルチメディアメッセージングソフトウェアの唯一の供給企業として推奨～

主な営業活動実績

China Unicomとの包括契約

- CDMA１X方式のマルチメディアメッセージング用ソフトウェアの唯一の提供企業として承認された
- 今後、China Unicom向け端末開発メーカーへのソフトウェア提供を実施

その他キャリアとの交渉推進

- その他China Mobile等のワイアレスキャリアや、固定網キャリアとのインターネットサービス推進に向けた活動を実施中

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

ドコモ提携キャリアとの今後の見通し

★：AT&T Wireless

- 2003年中サービス開始予定（NTT Docomo IR資料より）
- サービス開始に向け端末用ソフトウェア開発中

★：E-Plus/KPN group

- サービス開始。まずはNEC端末供給。今後東芝もリリース。

★：Bouygues Telecom

- 2003年4月までにサービス開始予定（NTT Docomo IR資料より）
- トライアル用サーバプロダクトを提供。今後、商用サービスに向けた協力を推進

★：Huchison 3G

- 商用サービスに向けた共同検討実施中

★：Telefonica

- トライアルソリューション提供済み
- 商用サービスに向けた共同検討実施中

★：KGT

- 商用サービス開始
- i-mode+WAPのデュアルブラウザを提供中

ドコモ提携キャリアに対し、今後も継続してACCESSソリューションを提供

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

5. 収益化に向けた直近の施策

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.

収益化へ向けた直近の施策

基本方針

- 収益機会の可能性を広く探って、幅広く手をつけてきたのがこれまでの展開
- プラットフォームを押さえる戦略が実を結びつつある現在、当面は短期的に利益の見込めない事業に関しては一旦縮小
- 将来性のある事業については、利益拡大後に推進

具体的な施策

1. 徹底的なコスト見直し

- 下期（8月～1月）の予算について、再度徹底的見直しを実施
- 販売管理費を中心に、大幅なコスト削減を実行

2. 人材採用の抑制

- 当面人員採用を抑制し、社員の増加を必要最低限に留める
- 既存戦力を最大限活用し、収益性向上に結びつける

3. 子会社、新規事業の事業性精査

- 子会社および新規事業案件の収益性を再度精査し、当面収益化が見込めないものについては、撤退・プロジェクト終了等の施策を実施し、事業の選択と集中を図る

ACCESS

Copyright ©2002 ACCESS.CO.,LTD.